

□随想□

「神戸っ子」

横尾忠則

え・津高和一



この随想のテーマ通りに従えば、神戸と東京を

対比しながら何かを語らなければならないのだが、もしかしたら私にはその資格がないかも知れない。というのも、実は神戸での在住期間はわずか三年余りで、しかも八年も前のことだ。

同じ土地の今昔を語るのならいざ知らず、八年前、つまり一九五九年の神戸と、一九六七年の東京を比較するには、時間の落差に矛盾がありすぎる。それでも原稿を引き受けてしまった以上、しかもメ切も大幅に過ぎた今となつては、断るわけにもいかず、どうしたものかと頭を悩ませながら

この原稿を書いている。

ここまで書いて私は、ふと大変重要なことを忘れていたのに気づいた。その途端八年間の空白が一気にぬりつぶされるほど、神戸の存在が私の深奥に大きく横たわっていることを発見して驚いた。上京して八年経った今でも東京弁がまともに話せないのも実は、このことが原因だ。それは十年前、神戸で知り合つて結婚した現在の妻のためである。もし神戸で結婚していなければ、この原稿も書かずにすんだかも知れない。

生粋の神戸っ子である妻も、関西弁がまったく

直らない。直そうとしないのだ。彼女は自分が神戸っ子であるという誇りと尊厳を持っているのだ。それが証拠に一日一回は必ず彼女の口から神戸の話が出る。それも東京に対するあらゆる不満が彼女を故郷神戸へと回帰させて行くのだ。話の内容はきまってる神戸の自慢話ばかりだ。

二十年近く西脇市に住んでいて初めて神戸に出て来た時、すべてにおいて田舎者の私にはこのエキゾチックな街がまるで外国のように見えた。この横文字のよく似合うK O B Eは一カ月たらずで私の精神構造まで変革せんばかりの鮮烈な都会の香りで私を酔わせた。それは一種、神秘的でさえあり、いつの間にか私をいい知れぬ甘味な陶酔の深淵へと運んでいくのだった。初めて知った性の欲びのように。神戸とはそんな街である。

六甲の山並から海岸へのなだらかな傾斜は女性の肉体の起伏のように、また、海岸線は女性の曲線のシルエットのようでさえある。海から吹き寄せる潮風の匂いは時には女性の柔らかな汗の香りのように官能的だ。つまり神戸は女性である。

もし私に神戸体験がなければ、現在、決定的に別の方向に行ってしまうって考えたも過言ではないと思う。現在の私の仕事の重要なテーマとなっている「性」も、全て神戸時代の具現化されたものかも知れない。

十九才で神戸に来た私は、あまりにも、田舎くさい自分が惨めで、例えばようなない屈辱感に、私は深いコンプレックスの傷口の血を止めるすべも知らなかった。この都会コンプレックスは、逆にますます私を仕事（グラフィックデザイン）の虫

にってしまった。毎日会社（神戸新聞社）が退けると、真直ぐ下宿に直行。今から思うとこの頃は本当によく勉強したものだ。数少ないデザイン雑誌は、表紙も取れてポロポロになるまで眺めたものだ。このガリ勉が効果を上げ、仕事に自信のついた私は、コンプレックスの挫折から救われた。その時の私には、神戸はまるで、袋小路に追いつまれた鼠のように見えた。私は狂喜した。そして私は神戸にいどんだ。私は興奮した。私は神戸の全てを私のものにしたかった。その頃、私は次々と大恋愛をした。これらの恋愛を通じて私の仕事の発想の領域がますます拡大していくのがわかった。私はいいい知れぬ官能の幸福感で狂気のように神戸におぼれるように対決していった。神戸は私を受け入れた。やがて神戸は私のすべてになってしまった。しかし、こうして征服した神戸は、私の前から色あせて行くような気がした。私は正式に結婚して妻と上京した。

現在、私は人からよく聞かれる。「あなたの出身地は？」と、私はすかさず「神戸」ときまって答える。今でも私の中には神戸は連綿と生きている。

私は生粋の神戸っ子以上に神戸を私のものにしてしまった自信と勇気で、東京に立ち向かっている。私は多分、一生東京に住むことになるだろう。しかし、いくら努力しても江戸っ子にはなれないのだ。もし許されるならば、私を「神戸っ子」と呼ばせてもらえるならば、こんなに嬉しいことはない。

〈グラフィック・デザイナー〉

□随想□

神戸—東京

古林喜楽

東京でイレブンPMを見ていた私の息子が、ビールをのんでいる私の元気なテレビ姿をみて、「先ずは安心した」という便りをよこした。おやじの悦に入った神戸でのなまの姿が、ぶっつけに東京で見られるのであるから、東京も近くなったものである。しかしそうはいうものの、それを見て先ずは安心したというところに、やっぱりまだ東京の遠さが残っている。

むかし東海道の五十三次を、テクテク歩いていたころは、恐らく神戸から東京まで、五日ぐらいはかかったであろう。今は「ひかり」で三時間あまりになった。五日は百二十時間だから、四十分の一にまで短縮されたというわけである。徳川家康がもしも今、参勤交代制をこころみたとしたら大名たちが日帰りをしてしまうので、こりゃいかんということになったであろう。

この頃アメリカでは距離を時間で表現する。お宿から近いですからあとでビールをのみにいらっしやいと誘われて、さて暮夜ひそかに訪れようか

と思ったら、車で五分しかかからないの意であつた。五分で行けるのだから近いという感じなのであるが、百キロ以上のスピードでとばす五分の距離といえ、なんと二里以上も離れている、はるかの方なのである。そのうちお月さんへまで五日で行けるようなことにでもなったら、地球と月とのへだたりが、江戸時代の神戸と東京のそれぐらいということになる。まさに月とスッポンとのへだたりが、今や崩壊過程にあるといえそうだ。もうかれこれ一昔のまえ、特急こだまがデビューしたとき、一番乗りした私は、ビューフェにとびこんで、文字通りのスタンド（とまり木もなかった）で、ビールの立ちのみをしてから、じ来これが病みつきになってしまった。新幹線になってからも、座席の番号なんかふりむきもしないで、五号車か九号車の方へ、足がひとりでに向いてゆく。ところが今はたった三時間なので、一寸よい気持になりかけたところに、横浜あたりにきてしまふ。立ったまま七時間で、十分たん能することの

できた、昔の特急が懐しいと思うことが時々ある。ビールをとったり味わういとまもないほどの近いところに、東京がよってきた。この頃東京での会議は、ときどき主催者が気を利かせて、開会を十時半にしてくれる。神戸からの通い時間を配慮してくれているらしい。これでは出張も、通勤にvarietyがあるというわけである。さもありなん、聞くところによると、神戸が東京へ進出して、おしゃれフェアを催すとか、神戸タウンをつくるとか、その他あれこれ神戸が出張してゆくりしい。ところが、東京の方は、これを歓迎しているというのであるから、東京と神戸とはどこか肌合いの合うところがあるらしい。そういえば逆に東京のローゼン・ケラーなんかは、神戸にこそあるべき存在である。ここはドイツのビア・ホールのふん囲気をちょびり味わせてくれる。ビールが日本のビールというだけで、ジョッキからテーブル・クロスにいたるまで、ドイツのそのままのものであり、ドイツ人の可愛らしい娘さんが、「ハロー・ヴィ・ゲーツ・イーネン（英語のハウ・ドゥ・ユー・ドゥ）」とよびかけて、サービスにきてくれると、その途端に、心はドイツへとぶ。やがてビア・ホールでのなつかしのメロディがはじまり出すと、思わず左右の者と腕をくんで、揺れださざるを得ないようなゲミュートリッヒなロカールである。大衆的なところではもう一軒、ゲルマニヤというのがある。先だってもここで、ビール党のドイツ人と意気投合し、ジョッキをぶっつけ合

つては、腕をくんで合唱をした。

神戸で夜更けの十時ごろに、わが家へ電話がか

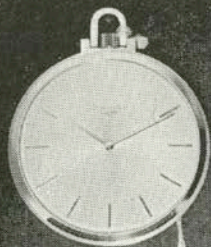
かってきた。ドイツ人から一寸出てきませんかというもらいである。ペラペラとドイツ語でまくしたててくるので、さてだれかなアと思いつめぐらしてみたら、この方は三宮でジョッキを待ち合わせた別口のドイツ人であった。こんなことも東京か神戸か、ならではの風景であろう。今に、夕べは銀座でプロジット、今日は三宮でまたプロジットというような唄がでてくるかもわからない。

京都というと、すこし異質になるし、大阪というと、東京もいささか敬遠するところがあるかも知からない。そこへゆくと神戸と東京とは、相性がよさそうだ。東京と関西とで隔日交互に編成されているイレブンPMで、どうやら関西側の方が受けているらしいが、さきごろ神戸っ子主催の「神戸っ子酒祭り」にいたっては、全く圧巻であつたらしい。私自身あのあと東京で会う人ごとにひやかされて、テレビの偉力に、今更ながら驚いたようなことであつた。

灘の生一本といつても、灘五郷の大半が神戸市に入ってしまった。今日では、神戸の生一本というところである。スマートなおしゃれ、尖端的なよそおいの点では、江戸っ子の方が、おのぼりさんだという人もある。材料が新鮮なだけに今ににぎりも神戸、肉は言わずもがな、軽井沢に匹敵する六甲山頂へ三十分、トンネルをくぐって天下の有馬温泉へ三十分、こうなっていると、時間的に東京が神戸へ接近してくるにつれて、スモッグと騒音のなかにあえいでいる江戸っ子も、浮き足がたちはじめるといふことにならぬとも限らない。

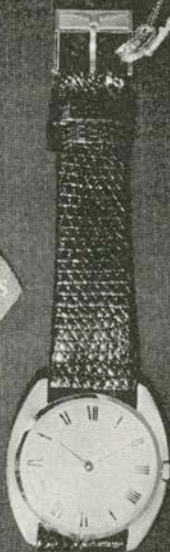
△元神戸大学々長▽

LONGINES



LONGINES

流行をはこぶ
ロンジン



特約店

 美和時計店

元町店・元町三丁目 TEL 33-1793

三宮店・さんちかファンシータウン TEL 33-8798

楽しい夢のある

ショッピングを!



トア・ロード店が新装開店...

国産・舶来アクセサリ

センスある品々

ニュー・モードがいっぱいです
ぜひお立寄り下さい。

コスチュームアクセサリーの店

芸 げい ん 夢

神戸店／トアロード ㊟8643・2293

大阪店／心斎橋ロビー (211)5153・1044

心斎橋名店街(小丸ビル) 211-8503

割烹「古紋」は神戸・花隈に
新しく生れたカウンター形
式の日本料理のお店です。
お気軽に季節料理を味わっ
ていただける楽しい雰囲気。
ぜひ一度お越し下さいませ。



神戸市生田区花隈町45
でんわ ③4 0240



現在このお店を手伝って下さる可愛い
お嬢さんを募集しております。
〈お手伝いの時間はPM4.00～12.00まで〉

お い ろ が き

お 料 理

古 紋 弁 当	400円より
お ま か せ	1,800円より
古紋コロッケ	300円
古紋湯豆腐	500円
季節一品料理	300円より

お 飲 物

日 本 酒(特級)	200円
ビ ー ル	100円より

古紋のお料理はきめこまやかな風趣と格調たかい
味覚。気軽なお値段で人気を集めています。



写真は 村上 正二郎氏

世界にのびる貿易港に

村上 正二郎 (神栄生糸株式会社社長)

柏井 健一 (柏井紙業株式会社社長)

岡崎 真雄 (同和火災海上保険株式会社取締役)

★船場出身の神戸っ子

柏井 村上さんは神戸でお生まれになったのですか。

村上 いえ、ちがうんですよ。私は先祖代々大阪船場の生まれです。四百年以上、大阪船場の御堂筋に家があり呉服商をやっていて、私で十四代目になるんです。豊臣秀吉が大阪城を作っている時分から村上家はずっと続いているんですよ。私は長男ですが、商売を継がずに神戸

っ子になったのが大正十五年、京都大学を卒業して入社したときがはじめなんです。それ以来四十二年間、私ももう六十をすぎましたから私の人生の三分の二ぐらいが神戸っ子といえます。だから第一の故郷よりまだ古いです。柏井 それでは事実上の神戸っ子ですね(笑)。

岡崎 実家が織物関係ということで、神栄生糸の前身にお入りになったんですね。

村上 そうです。まあ別に親戚関係でもなんでもなかつ

たのですが当時の社長は岡崎藤吉さんでした。専務が勝山さん。この人は郵船会社の神戸支店長でしてね。海運の労働紛争のあったとき、陸員の側に立って部下を擁護したんです。それで郵船会社をやめていたところを岡崎藤吉さんが船関係でよく存知だったのだからという事で専務に就任されたんです。

柏井 そのころの生糸市場の中心は横浜だったんですか。

村上 神戸ももう中心になっていましたね。つまり関東大震災以後、政府は二港主義をとったのです。関東大震災で横浜港がつぶれて、生糸がストップして海外へ出なくなったので、国内では生糸は暴落するし、アメリカでは日本の生糸がこないというので暴騰したんです。そこで神戸港からいちちはやく出したのが朝日シルクです。それで他の輸出商は皆、ぐずぐずしていたら朝日シルクにみんな甘いしるを吸われるというので、神戸港からも輸出するようになったのです。

柏井 神栄さんが直接輸出をするようになったのはいつごろからですか。

村上 私が入ってからです。私が入ったときに問屋だけでなく輸出をするから、一年間勉強しろといわれて、誰も経験者はいないけれど、お前単独でやれといわれましてね。最初の一年間にその当時の金でだいぶもうけたんですよ。それから約十五年間、戦争がはじまるまで、その間四年ほどニューヨーク支店にいましたが、帰ってから戦争になりそうになったのでニューヨーク支店を閉鎖しました。資産凍結令というのが一週間先に出るという入電があったので一週間の間にそのとき生糸が三百俵ほどありましたかね。当時の金にして二〇〇万ドルほどあったんですよ。それで、一俵残らず現金で売ってしまえと命令を出したんですよ。利子を出してもいいからすべてを前払いでキャッシュにしてもらえといましてね。

岡崎 当時の金で一千万円ぐらいですか。一ドル二円ぐらいですからね。今の金にしたら何十億になりますね。

村上 むこうで当時、生糸業者は八軒しかなかったのですが、ほかのところはえらくおさえられたんですよ。アメリカ人が生糸の商売では日本人の商社に負けてしまったわけです。八軒のうち、帰ってきたのは一軒だけで、あとは十二月八日の開戦後、支店長以下、男女別々に一年半、金アミ生活をしたんですよ。まあ、うちは一年といえども損せずどころか相場をうまいこと泳いだんですよ。

柏井 生糸商としては日本ではトップクラスですね。

村上 まあ、古いことと問屋としてはね。

岡崎 横浜にも問屋があったんですか。

村上 規模の大きいものが四、五軒ありましたが全部つぶれましたね。相場の変動のはげしい商品ですからそう長続きしないんですよ。しかし、うちは八十年になりますね。明治二十二年からですからね。

★発展の土台はミナト神戸

柏井 八十周年の記念としてあのビルを建てられたんですか。

村上 そうです。どこでもそうでしょうが、うちの会社はよく金があるんです。それで、まず工場の設備を第一にせんといかん。工場の機械設備を新しく変えていくことや、木造を不燃性の工場に変えたりしていたんですが、一応出来ましたので、今度は、本社造りにかかったわけです。そしてその次には商業部門を大いにやらないといけませんね。またそういう時機になりましたね。

岡崎 最近、生糸の内地需要がたかまってきているというお話ですが。

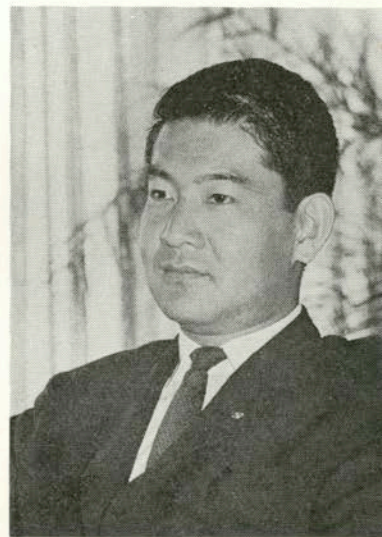
村上 現在はきものブームでね。今年の成人式がピークでしたね。それに結婚ブームをくわえて絹織物はブームです。

柏井 日本の着物は高いと思うのですが。

村上 そうですね。日本の着物がほかの織物とくらべて高いとよくいわれますが、私たちも、安く売りたいが買



上は柏井健一氏・下は岡崎真雄氏



う人が多いですからね（笑）それと着物はやはり芸術品ですから、女性の、美を愛する気持はなんといっても男性以上ですからね。

柏井 持っただけで満足するわけですね。

村上 それでうちはもうかる（爆笑）わけです。

岡崎 これは今の時代の先端をいく風潮ですかね。

村上 そうですね。第一、女性がきれいにならないければその国は繁栄しないですよ。ソビエトの女性が最近きれいになりましたでしょう。女性をきれいにするのはなんといいっても男性ですよ。

柏井 そこで勤労意欲がわいてくるというわけですね。

（笑）

★先輩諸氏のご苦勞に感謝

岡崎 八十年も相場でご損もせず、たいへんよくやられたと思いますが、特に気をつけられた点はありますか。村上 生糸問屋というのは相場の波にのらんとだめですなあ。毎日の相場の波をよくみているとあまり欲を出さなかったら割によく当たるもんですよ。あがり出したところと今まであがるし、さがり出したところと今までさがるんですね。そういう商品ですからね。はじめての人はえらくむつかしいだろうと思われるでしょうが、長年もまわってくるとそんなにえらいもんです。昔はね。輸出商へ売るでしょう。売って相場がさがると品質が悪いというのでキャンセルするんですよ。当時はべ

ケとっていったんですがね。相場があがると少々悪くても、取るんですよ。そこで品質で文句が言えんように生糸検査機を作ったんです。

柏井 神戸の生糸検査場はいつ出来たんですかね。

村上 あれはね。大正十二年、神戸で輸出ができるようになってまもなくですね。私のところが輸出をはじめてすぐでした。あれははじめ市で作ったでしょう。それを国へ寄附して国立にしてもらったんですよ。あれを作るのに滝川儀作さんが骨を折られたんです。あの方は岡崎さんなんかと同じような考え方で関東大震災で二港主義になったとき、この機会に神戸の生糸市場というのを考えて、検査場も市で作れということになったんです。

取引所にしても皆、先輩がやってくれたんですよ。だから神戸の生糸市場というのは、骨を折って出来たんですから大事にしないといけないんですよ。

柏井 地元の商社というのは兼松さんも神戸からスタートして本社が神戸にあるのですが。

村上 同じ金を使うんだったら人はなぜ大阪や東京に本社を置かないんだといいますがね。私は大阪の生まれだけれども、先祖が神戸にある私の会社としては、神戸でひとつ、大いに仕事をしよう、輸出については雑品からいろんなものをやっているんですよ。大阪にはメーカーは多いですけど何も大阪に行かないでも、電話でも直通だし、行くのにも二十五分もあれば行けるんだから、阪神都市ですよ。大阪にいないとできないという

のはおかしいですよ。それによつてはむこうから来てくれますし、売込みにくる人はきてくれますよ。勿論大阪にも足だまりはあるんですよ。でも人間をむこうに重点を置くとは結局、費用がたかさんかかると。そういうわけで神戸の貿易商社として、腰を落ちつけてやるうということ、このビルを神戸に建てたんですよ。岡崎 そういう意味では神栄さんだけということになりましたね。

村上 そうですね。そういう形は少ないかも知れませんが、神戸としては非常にありがたいことで、神戸を起点にした企業というのは確かに出てきていますから、神戸の貿易界にとっては神栄さんがおられることで非常に重みを増しますものね。

村上 私のところも横浜や東京にも支店はあるんですけどやはり、神戸を重点的にのびるだけのぼしてみようとしたわけですよ。

★躍進のための神戸記念祭に

柏井 いままでのお話では神戸の移りかわりについても出ましたが、開港百年祭について……。

村上 明治元年一月一日に神戸港が開港されたとは私は聞いています。百年祭だということは大いにお祝いしないといけませんね。私のところが、二十年の創立ですよ。こんないいときに八十年祭がおこなわれるというのはぐあいがよろしいですよ。先祖に感謝していますよ

(笑)

柏井 何年祭何年祭というのはどうでもいいようにですが、会社としてはひとつの節として、過去をふり返った将来を考えるのにはやはり必要なんでしょうね。

村上 私もね、こういう八十年にあたるときに、社員の間持をしっかりとひきしめておかないと将来のびないので、こういう機会に式典をやると同時に、うちの会社にはこういう古い歴史があるんだ、この歴史をどんどんのぼしていかないといけないという責任を感じさせたい

と思います。最近の労使関係はむづかしい面がありますが、双方でゆずりあつて両方が栄えないとね。会社が栄えないで労働組合が栄えるはずはありませんしね。また労働組合の従業員のことを考えないで会社をよくしてもこれはうまくいくはずはありませんからね。双方が協調しあつて、ともに繁栄していかなければなりません。そういう気持を持ってやらねばなりません。幸い、うちは今だかつて争議を起こしたことがないんですよ。

柏井 先程もお話に出ましたが、神戸の将来をどうするかということについていかがですか？

村上 神戸は地盤沈下だといわれていますが、これからは絶対心配ありませんよ。大阪は飽和状態ですからこれからは西の方に広がってくるんですよ。ことに神戸の西の方では工業地帯がどんどんできていますからね。これで夢のかけ橋ができるのと四国のものがどんどん神戸にあつまってきましたよ。神戸港は、天然の良港ですからね。大阪がいくらまねをしようと、海底をさらえてみたつてだめですよ。神戸が荷物を扱っていく運命にあるから、これからの神戸は増々栄えていくと思つていらっしゃるんです。輸出は大阪というより阪神都市ですからね。人口もどんどん増えていますね。インド人の商社も神戸へとあつまっていますよ。

岡崎 戦前戦中の外人商社は、他所へ移っていました。皆、神戸へもどつてきていますね。

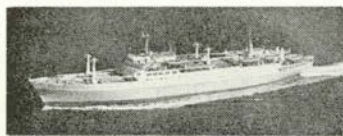
村上 心配しないで神戸の地盤はこれからあがつてくるのちがいます。大阪港や名古屋港には船員が行かないですよ。神戸港にはよこんでくるらしいけれど、やっぱり船を受け入れる条件がよろしいんですよ。神さまから与えられた港ですからね。神の港と書くでしょう(笑)。こんな港は人工で出来ませんよ。神戸港は神戸に与えられた財産ですからね。六甲山もそうです。うしろに六甲山を持って太陽の光線がいっぱいの神戸へ人があつてこないはずがありませんよ。そういう意味で会社も大阪へは行かないで、神戸で必ず今以上に発展しようと思つていられるんですよ。

(文責編集部)

経済ポケット ジャーナル

★見本市船「さくら丸」

米、カナダ両国へ
巡航見本市船「さくら丸」
(一二、六一一総トン)がア
メリカ、カナダ両国へ向か
った。同船は両国の九港で
三十五日間見本市を開き、
八月三十日東京へ帰る百十
九日の巡
航。ニュ
ーヨーク
はじめ万
国博覧会
開催中の
モントリ
オールや
神戸港と
姉妹港提
携したシ
アトルに
も顔をみ
せる。巡航見本市はこれま
でおもに東南ア、中近東、
アフリカ中心に開催、こん
どが第七次。しかも相手
アメリカ、カナダの大先進
国なのでデイスブリーにも
苦心している。



見本市船「さくら丸」

さくら丸の船内はすつき
りあかぬけ、ビジネス色を
強く打ち出したほか、事故
防止のために一面床を張っ
て「人命尊重」にも気を配



っている。四十五年の日本
万国博の会場模型が陳列さ
れ、兵庫・神戸コーナーも
二小間ずつ設けてあり木珠
のれん、つり針、ビーズバ
ッグなど二百点の高級雑貨
が出品されている。

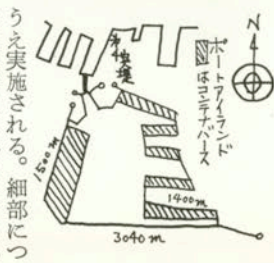
★砂野仁氏が日本造船工業会の会長に

川崎重工工業社長の砂野仁
氏が日本造船工業会会長に
なった。会長就任が内定し
ても「言いたいことはたく
さんあるが、ならん前には
言えん。だいいちウレシ
げでいかん」と抱負を語ら
なかった砂野さん。「最近、
社の仕事をやろうとすれば
するほど「形式的な仕事」
がふえてきた。しかし、社
会的な仕事をやればやがて
自分本体の仕事にはねかえ
ってくると信じている。会
長を引き受けたからには精
いっぱいやります」とやる
気じゅうぶん。「少々の国
家補助では、労働力不足の
今日、造船王国ニッポンの
王座維持はむずかしい。輪
出船の継ぎ融資率一〇%引
き下げも実情に合わない。
政府が造船振興に逆の方向
をとるのは政策に欠陥があ

るからで、事態をよく見直
してもらおう政府の啓蒙
をしながら、まず自らの手
で業界の協調などを考え直
す」と語った。造船工業会
会長の任期二年間ぐらいい
「日本の王座」を持ちこた
えられる「かどうか、砂野
さんはひん死の病人にカン
フル剤がほしい」と言っ
ている。

★ポートアイランド 最終計画できる

神戸市が一部埋め立てを
始めたポートアイランド
(人工島)の最終計画が決ま
った。これによると総面積
は四百二十万平方メートル(当初
計画三百三十一万平方メートル)、
総工費八百四十億円(同六
百四十億円)と当初計画を
大幅に上回る規模となった
ほか、コンテナ時代に備え
て、一般ライナーバースも
コンテナ専用船が利用でき
るように思い切ってヤード
を広くしたのが特徴。
最終計画は六月下旬に開
かれる港湾審議会(運輸大
臣の諮問機関)で検討した



* K O B E オフィスレディ *



水本幸子さん (23)
角南商事株式会社総務課勤務

ロシア文学を愛し、ラテン音楽を聞き、ビ
アノにむかう。散歩と詩を書くこと、そして
車の運転と幅広い趣味をもったひとである。
入社して三年目。社長秘書の仕事にも馴れ、今
ががいばん楽しいところという。誠心誠意仕事
に接したいと話してくれる素敵なお嬢さん。
今年中にマナービルでもして車が買いたいとい
う夢をもっている。欽松学園家政科卒。

■技術ジャーナル

トンネルの話

諸岡博 熊

△神戸市調査室副主幹▽

この四月開通した六甲トンネルは道路用のもので、関門、笹子についてわが国で第三番目の長さ。二、八四三メートルである。他方、山陽新幹線の六甲トンネルが実現したならば、シンブロン（一九〇六年）二〇、〇三六メートル、アベニン（一九三一年）一八、六一八メートルについて、世界で第三番目の一六、二八三メートルとなる予定である。ちなみに、日本最長の鉄道トンネルは、北陸トンネルの一三、八五〇メートル。

道路トンネルには換気という大問題がある。自然の換気の限界は延長五〇〇メートルといわれているからこれ以上のトンネルになると換気装置が必要となる。そのわけは、自動車の排気ガス中に含まれる一酸化炭素と煤煙を取り除くためである。さらに、先日の鈴鹿トンネル事故に備えて、消火設備も必要とされる。

トンネルはすでに紀元前、エジプトで王の墓の通路に利用された。バビロンではユーフラテス川底に煉瓦巻きのトンネルが築造された。ローマ人は技術に秀でていたので岩石を火で熱し急冷しヒビ割れを入れる方法や、石灰石や大理石を醋酸で溶かす方法などを開

発してトンネルを掘った。

フランスのランゲドック運河（一六八一年）のトンネル（一五六メートル）は火薬をトンネル掘削に利用した最初である。

世界で始めて鉄道がマンチェスター・リバプール間に開通した。路線の一部にトンネルが使用され、鉄道トンネルのはしりとなった。その後、鉄道が世界中に普及するにつれて必然的にトンネル掘削技術は進歩していった。

モンセニ（一八七二年）の鉄道トンネルは手掘りのため、一日わずか二五センチしか進行しなかった。が、技術の進歩につれて、削岩機、空気圧縮機、ダイナマイト、電気雷管、ロータリー掘削機など一連のトンネル機器が開発されて近代工法が確立していった。トンネル掘削技術の進歩は、鉄道が普及したおかげである。

世界の長大トンネルはアルプス

鉄道トンネル・ベストテン

名	称	国名	延長米	完成年
①	シアラロ北モニアモ清	(瑞・伊)	20,026	(1906)
②	ブゴツ	(瑞・伊)	18,618	(1931)
③	セカペフ	(瑞・伊)	15,000	(1882)
④	ニケル	(日)	14,534	(1913)
⑤	ニケル	(日)	13,850	(1962)
⑥	ニケル	(日)	12,847	(1871)
⑦	ニケル	(日)	12,538	(1922)
⑧	ニケル	(日)	10,025	(1885)
⑨	ニケル	(日)	9,802	(1927)
⑩	ニケル	(日)	9,702	(1931)



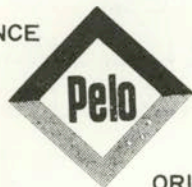
の周辺に多い。これらの主なものは一九世紀末から二十世紀初めまでに築造されたものだ。アルプス以外の地では、イギリス、ニュージーランド、日本などの島国にトンネルが多くみられる。

日本道路公団の計画中のものに中央道の「恵那トンネル」延長八、四五〇メートルがある。――モンブラン（伊・仏間一、六五一メートル、一九六五年）につぐ世界第二の自動車用の長大トンネル――。

日本の近代トンネルの始めは、明治三年に着工された石屋川鉄道トンネル（六一メートル）で、現在も使用されている。これは、イギリス人の技師が天井川を開削して水路を切り換えて築造したもので、陸路水路方式の最初のものでもある。このトンネルは、東海道路線の六甲踏切除却にとりなう灘高架工事（灘・住吉駅間三、三六〇メートル）のため、いよいよ姿を消すこととなる。△写真▽




1870 SINCE



BERLIN
ORIGINAL PELO

日本販売元

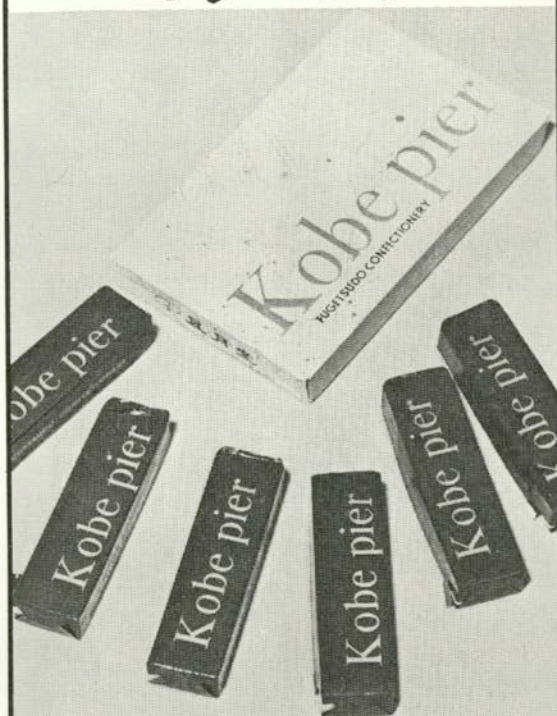
元町バザー

神戸・元町1丁目 TEL (33) 1401・7031
東京・日本橋  白木屋 TEL (211) 0511代



突堤を型どったココアキャンデー

コウベピア



6本入 ¥100 18本入 ¥300 24本入 ¥500

神戸にそだって 70年



元町3丁目 TEL ☎2412~5
さんちかスイーツタウン TEL ☎3455

結納儀式用品



幸せな二人の
えにしを結ぶ
結納儀式用品

合資会社 * 創業 35 周年

遠藤福寿堂

東店＝神戸市生田区トア・ロード高架上 TEL<39>1871～3
西店＝神戸市長田区市電菅原東入 TEL<55>2251～3

呉那保藏

みよーや



電話神戸③三三八八～九番
大阪店 阪神百貨店三階
電話 大阪 ④五五四八番
姫路店 やまとやしき百貨店三階
電話 姫路 ②三二二番
衣裳部 三宮町三丁目柳筋
電話 ⑤五一六五番

●パイオニア神戸



⑥ 滝川 辯三

有井基

兵庫新田、現在の湊町四丁目あたりだったという。

辨三は嘉永四年（一八五一）長州藩番頭職の家に生まれた。五人兄弟の次男。幼時から小兵だったが、図抜けて頭が切れた。兄六郎も藩校で、のちの乃木希典將軍と双壁をなす秀才。その縁で辨三も乃木を生涯の親友とした。慶応四年、十五歳の辨三は兄と官軍の奥羽征討に参戦、兄六郎を失った。その年、年号は「明治」と改元。激動する新時代の幕明けである。

明治三年、大阪開成学校へ入学。当時としては最高水準の理化学と英語を学び、一年半後、上京して慶応義塾へ。六年二月、父清の死去で帰郷、家督を継いだ。勉学の念やみがたく再び上京して工部省の電信学校に入っ

神戸でのマッチ業の起りは、明治十年。記録では同年三月、堀某が下山手通りに工場を開いたとあるが、詳細はわからない。同年、神戸監獄内でも、囚人労働としてマッチ製造を始めた。有毒で悪臭を放つこの仕事は、人にきらわれた。いきおい囚人からスタートさせる必要があったようだ。だが、単純な手仕事である。新らしい開港場へ流れこんだ労務者の女房子供には、格好の内職だった。

いわば「よこれ」の仕事であった。そこへ高級武士のせがれが飛びこんだ。滝川辨三。かれは明治十三年六月、数人の共同出資者を説いて、工場をつくった。湊川が埋め立てられ、いまの新開地になる前の、堤防西にあった

た。語学力抜群で卒業も早く、七年、大阪梅田駅、八年、神戸三宮駅の電信係となった。神戸と触れ合う機縁といえよう。

時流は激しく動いていた。産業界はわれがちに、外国貿易を目指していた。目ざとい辨三が見過すはずがない。「よし、オレもやろう」明治十二年、あっさり官を捨てた。電信技師は当時、エリート職だった。それを見切り、あえて「土農工商」の商に就こうというのだから、当然、決断が要った。郷里の家財はもとより、武器から家伝の系図まで売り払い、わずかの資金をにぎって神戸へ出た。イギリス人経営のキンフル商会へ勤め、重宝がられたが、独立目的の辨三は一年で辞職。そしてマッチ製造業へ。



大正初期のマッチ工場内風景

ネコもシャクシも舶来をありがたる。かれはそれを愛えた。輸入にたよりきつていては日本経済の地盤も沈下するばかり。その点、新興産業のマッチは、外国製品を対抗できるところまで技術が進んでいた。救貧事業としても、うってつけではないか、と考えた。事実、需要の伸びは急で、辨三の工場「清燐社」（せいすいしゃ）は、順調に生産高を伸ばした。

しかし、つまずきはあつた。西南戦争後のインフレで、共同出資者は全員手を引き、工場は辨三一人のものになった。同時期、もうかると見ると、にわかに同業者が乱立。ダンピング競争―品質低下―信用失墜―共倒れ、というお決まりのコースをたどった。つい数年前まで性こりもなく繰り返された悪循環、中小零細企業群に特有の病弊である。相つぐ倒産を横目に、辨三は意地でも退けなかった。急場しのぎにかれは、製品を輸出マッチから内地向けへ切り換えた。

背水の陣の辨三はアツシを着、ナワの帯をしめて奮闘した。妻の吉子も、長女豊子（のち滝川儀作夫人）を柳行李のふたに入れ、次女を背にあやしながら、女工さんにまじって立ち働らいた。見栄も体裁もない。士族のメンツにこだわらず、武士の根性をつらぬいた。これが信用を呼び信用が財をふやした。苦闘はむくわれたのである。

いいものは売れる。かれは一徹にそう考えた。かけ引きもケレン味もない。それだけに大胆な手が打てた。三十年、泉田文四郎経営の良燐社を十二万円で買収したとき「尾長マーク」の商標板に五万円の値をつけた。いかに清国市場で人気があるとはいっても、五万円の評価額は、世人をおどろかせるに十分だった。清燐社もすでに工場の拡張・増設を行ない、大変な勢い。同年、市内には四十五の製造業者があつたが、年間五千個（一個六百ダース入り）以上産出するのは辨三と播磨幸七、本多義知の三工場だけだった。

マッチ業者は、市内工場総数の六〇%を占め、生産高

は三百万円に達した。中でも清商麦少彭、呉錦堂と結んで東南アジア一帯に市場を占有した辯三は、業界の頂点に立ち、やがて「マッチ王」と呼ばれるに至る。三十一年には儀作を養嗣子に迎え、良燧社の経営をまかせて、父子でヨーロッパ、アメリカまで市場を拡大、最盛時には日本の総生産量の七〇—八〇%を独占した。

国内に敵なしの感あつた辯三にも、こわい存在があつた。強大な外国資本である。明治三十八年、日本燐寸同業組合が設立され、組合長となつて事務所を神戸市海岸通二ノ一に置いたが、その春、アメリカの大資本ダイヤモンド社が日本市場をうかがう構えをみせた。国内専売権を譲ってくれるなら二百万円出そう、さもなければダイヤモンド社の専売権を買入れよ、という政府との直談判。国内の中小・零細企業はふるえ上がった。ちょうど日露戦争のさ中、政府とすれば二百万円に目がくらみかねない。



辯三が創立したマッチ工場（兵庫区下沢通4丁目）

この時、農商務省は業者を集めて全国マッチの合同をすすめ、対策委員長に辯三が互選された。なにしろ国内では安からう悪からうの粗製乱造、販売方法もバラバラで価格も不安定だ。おりもよしと業者の大半が合同に賛成し、マッチの専売権を握ろうとした。この動きに、ブレイキをかけたのは辯三父子。専任委員長を辞任すると真つ向うから反対、ついに大合同も専売制も、流産させてしまった。当然、変節漢呼ばわりされたが、かれは動じなかった。

読みはこうだ。専売制にすると、必然的に価格は高騰する。高くなれば外国品と競争できない。そうなれば資本力のない日本のマッチ業界は破滅するほかない。この考えに同調者もあつたが、大合同に積極的だった大阪の業界は激怒し、分裂して行つた。それはまた神戸が大阪を完全に押え、確固たる地歩を築きおえたことを意味した。



今はタクシー会社のガレージになっている旧マッチ工場(兵庫区下沢通四丁目)

て世の役に立つことをしたい、と儀作に相談した。儀作は「即製の人間を養成する商業学校でなく、一般教養を身につけさせる中学校か高等女学校を作ってはどうか。それが本当の実業教育ではないか」と答えた。当時、会下山にあった私立兵庫中学校が経営難で廃校寸前にあり、兵庫県知事清野長太郎から儀作に、生徒を救ってやってほしい、と依頼があったからだ。

辯三は二もなく賛成した。かつて「熟練で忠実な良い職工を得るのは会社の永遠の利益である」と、工場で職工、女工に教育を試みたことがあった。女工に裁縫や普通教育を教えようとする出席率がひどく落ちた。不時の出費に備えて貯金制度を設けると、賃金の全部をくれぬと不平が出た。夜学へ通わせようとしても出席率が悪い―結局、なにも続かなかったが、医療、厚生面で行きとどいた待遇を示した。それが今度は、本格的な教育なのだ。大正七年一月、兵庫中学校は、滝川家に引きとられた。

辯三は板宿に学校を移し、校舎を私費で新築して、滝川中学校と改名した。現在の滝川高校である。かれは同年、第一線を退き、同十四年に七十五歳で死ぬまで、滝川中の経営にあたった。その引退と、あたかも符号を合わせたようにマッチ業は衰退。やがてスウェーデン・マッチの資本力に圧倒され、昭和七年には、筆頭株主だった大同マッチから追い出される。だが、辯三の意思を完全に受け継いだ儀作は、その後も経済界の要職を歴任。日中親善、育英事業に幅広く活躍したことは、もはや説明の要もないだろう。

(神戸新聞記者)

明治四十三年二月、辯三は神戸商業会議所会頭に選ばれた。かれは観光団を組織して清国実業界を視察、提携の糸口を開いた。清朝末期。辛亥革命の前年である。風雲急を告げる大陸へ、親善旅行をする。これは一つの卓見だし、中国との友好親善は儀作にも受けつがれ、滝川家の伝統的役割りともなっている。そしてもう一つ。晩年の辯三は一粒の種をまいた。育英事業である。

大正になって数年、辯三はすでにマッチの限界を見通していた。すべてを儀作の手にゆだね、自らはマッチを始めいっさいの公職から引退を決意、その記念事業とし

ご贈答に



瓦せんべい
クリームパピヨン

市内地方配送承ります

龜の井 龜井堂本家

神戸三宮トア・ロード電話 本店33-0001
南店33-1616

ハワイ をかけよう……

ロイヤル



ハワイアン

サングラス

神戸で生れ
只今ワイキキビーチで
流行中



発表即売中

神戸眼鏡院

元町店・元町3丁目 ☎33112~3

三宮店・さんちかタウン ☎391874~5

エレガントなご進物・ご家庭用に

マドレーヌ



10ヶ詰 ¥ 500

北欧の銘菓 ユーハイム コンフェクト

本社・工場 / 神戸熊内町1丁目 TEL22-1164・9865
熊内店 / (市立美術館東隣)

三宮店 / 神戸三宮生田筋(階上喫茶室) TEL33-7343・0156・4314
神戸デパート店 / 長田区大橋5丁目・甲子園店 / 国鉄甲子園口駅(北口)・芦屋店 / 国鉄芦屋駅前通・堂島営業所 / 大阪堂島中町ビル地階
梅田店 / 大阪梅田地下センター・栄町店 / 名古屋栄町地階・千ビル
種工場 / 名古屋千種区若水町・大丸店 / 神戸・京都 阪急店 / 神戸
大阪・三越店 / 神戸・丸栄店 / 名古屋・オリエンタル中村 / 名古屋
大阪国際空港・神戸鉄道弘済会・丸物店 / 豊橋・松菱店 / 津・姫路
駅デパート・明石ステーションビル



O-SHIBATA



柴田音吉洋服店

神戸・元町通4丁目 神戸 34-0693
大阪・高麗橋2丁目 大阪 231-2106



★ある集い

その足あと

バラを愛する

神戸バラ協会

バラの歴史は人類の歴史とともにあるといわれている。古代文化が発達していたイラン、シリアなど中近東や中国で、その地原産のバラが改良され、やがて文化の発展とともにエジプトからギリシャ、ローマにもたらされて今日の隆盛をみるようになった。

あらゆる花の女王として神話や伝説、また詩や物語に織り込まれ

たバラは、私達人間と深い関係をもっているといえるだろう。

神戸もまたその例にもれず終戦からいくとせか過ぎ、ようやく世情も落ちつきかけた昭和二十八年秋に神戸大丸で「神戸バラ展」がささやかに市内に散在していたバラ愛好者の持ち寄りで開催された。それまでは市内や近郊に、小地域的に同好者のバラ会があったが、現在の洋らんや、東洋らんのようにまだまだ高級花とされていた。この第一回の神戸バラ展（神戸市主催）を契機として、その最右翼であった甲南バラ会を中心として神戸バラ協会が誕生し、バラも大衆化の仲間入りをするようになった。この協会は神戸の市内や近郊に居住するバラの愛好者は誰でも入会でき、全国的な組織をもつ日本バラ会や朝日バラ会などの系統にはわずらわされない自由な立場の協会であり、神戸市の「花いっぱい運動」の一翼をになう会でもある。

会長はバラに関して造詣の深かった故筑紫六郎氏で、それからは毎年春、神戸大丸でバラ展を、秋は菊の香薫る相楽園内で小品展と年を重ねること十四年、「世界を結ぶ神戸のバラ」「シアトルとの姉妹都市提携記念」「暮しとバラ」

「バラのブロムナード」「美の祭典」等々のテーマのもとに毎回一

本花、三本花、デコレーションなどのコンクールのほかに国際港らしく十五カ国程度の外人や生花業者のデコレーションなども出品され、毎回会員やこれらの人々の協力によって神戸市との共催で続けられている。

今年のテーマは開港百年祭記念「バラは世界を結ぶかけ橋」。

この協会はバラ栽培の普及を目的としているので、時期をみて接木、せん定、施肥等の講習会を毎年繰返し実施して新しくバラ栽培希望の人々に入門を勧めたり、各地のバラ栽培地の実地視察をおこなっているが、現在の目標としては栽培研究家のつどいをもちたいものと考えている。

またこの協会では故筑紫会長の寄金によって現在、中山手、本山、東遊園地などに街頭バラ園を作り、市民の目を楽しませるとともに、年に数回開催する前記の栽培講習会の実習場ともなっている。

現在の会長は筑紫新子さん（故筑紫会長未亡人）で、副会長は三名、常任理事および理事約三十名、会員数二百五十余名。

事務所は神戸市役所土木局内。

— グラビア七頁参照 —